



郡中学校通信 No5

学校教育目標 「 自ら行動、達成して感動 」
校 訓 「 自主・自律・連帯・創造 」

郡中ビレッジ 美・礼・時

チーム郡 思いを力に!

R3. 4. 23発行 文責 校長 松崎大樹



令和3年度前期の総務が決定しました!

あなたがクラスのリーダーです。クラスのために、仲間のために、そして、自分のためにしっかり頑張ってください!



この春の入学、そして進級に伴い、令和3年度の新しいクラスにおける学級組織が決定され、その中では、これからのクラス運営の要となる総務も選出されました。頼もしい36名のクラスリーダーの誕生です。大変な時もあるかもしれませんが、みなさんの頑張りが、きっとクラスに所属する生徒一人一人の喜びや達成感、安心感につながり、クラスのまとまりに変わっていくことでしょ。クラスのために、仲間のために、そして自分のために、しっかり頑張ってください。

郡中学校の一年間の学校生活の中には、クラス全員で取り組む様々な活動が展開されていきます。そして、その一つ一つの活動をより充実した実りあるものに成し遂げていくことで、クラスの仲間達との絆が深まると共に、クラスに所属する生徒一人一人の人の成長が促されていくのだと思います。

生徒のみなさん! そのためにも一人一人の生徒の存在が大切にされ、どの生徒にとっても自分のほっとする居場所があるクラスを、生徒役員や総務と共に作ってほしいと思っています。

そして、そんなクラスになったとき、真の意味でクラスが一つにまとまっていくのだと思います。

郡中学校全生徒672名の存在や思いが大切にされるクラス、学校でありたいものです...

そして、それが「チーム郡」の姿だと思います...



令和3年度前期 大村市立郡中学校 総務

1年1組	濱崎 遼平 津田 千颯	2年1組	西尾 美咲 村上 遥大	3年1組	中村 海翔 古賀 美咲
1年2組	坂中 亮馬 田中 佑以子	2年2組	小森 美夢 久保山 聖都	3年2組	西村 颯太 今里 碧
1年3組	瀬戸口 陽大 大又 菜那	2年3組	大浦 朋晃 池田 茉生	3年3組	會川 隼人 松本 直子
1年4組	梅津 宗朔 戸島 美紅	2年4組	向井 祐貴 北島 咲良	3年4組	小川 悠季斗 尾崎 実史
1年5組	西上 篤 奈良迫 結姫	2年5組	酒井 瑛斗 野口 みのり	3年5組	佐藤 友亮 金子 優月
1年6組	開 響太郎 新郷 心葵	2年6組	安永 惇己 重井 美尋	3年6組	中野 桜汰 東島 なつみ

私たちの総務=クラスのリーダーを しっかり応援していきましょう!

各クラスの総務が選出されましたが、総務を選んだみなさんにも責任が生じます。それがフォロワーとしての責任です。つまり、自分の意志でリーダーを選んだわけですから、リーダーが頑張ろうとしている時、そのことに共感することがフォロワーとしての責任なのではないでしょうか。

そして、リーダーがリーダーシップを発揮したとき、たとえ一人の生徒でも「よし!ついていくぞ。」「一緒に頑張るぞ!」と共感し、動いてくれたなら、リーダーとフォロワーの出会いが始まり、その時、チームが発生するのだと思います。リーダーの責任、フォロワーの責任、それぞれがしっかりその役割を果たし、良きクラス、良きチームを作っていくてください。 校長より



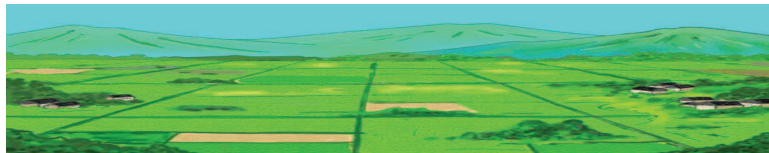
郡中学校の校章の意味を知っていましたか?

校章にある3つのペン先型図形は、松原・福重・竹松の3地区の生徒達が、一つの校舎郡中に集う姿を表すと共に、下の2つのペン先は生徒の文筆的学習活動(郡川)を、上のペン先はスコップや農具に見たてた勤労活動(多良岳)を意味しているそうです。

また、その間に見える葉型の部分は、緑豊かな田園の町、郷土郡地区を表現としていると共に、若々しく伸び育つはつらつとした生徒の姿を表しているそうです。

最後に、「中」の文字は、生徒の高い理想に、希望を持って飛翔する鳥をシンボル化したものであり、全体で両足を大地に踏ん張って立つ姿を表現しているそうです。

このように私達の郡中学校の校章には、この郡中学校を創設した当時の方々の様々な熱い思いがたくさんつまっているのです。この熱い思いを胸に、チーム郡としてしっかり頑張っていきましょう。



お詫びと 訂正です。 ごめんなさい。

郡中学校通信NO4で、下記のような間違いがありました。この紙面を借りて、訂正とお詫びをさせていただきます。ご了承のほどよろしくお願いします。

- 三蜜×→三密
- 1年生課題テスト
5/22(木)×
→4/22(木)○





郡中が位置する沖田原には、 春のさわやかな風が吹いています。



若葉がまぶしい、本当にさわやかな季節となりました。生徒たちも始業式・入学式を迎えてから早3週間が経ち、少しずつ新しい生活にも慣れ始め、落ち着いた学校生活を過ごしているようです。各教室で行われている授業を参観させていただきますと、各先生方の熱心な指導に対し、どの教室の生徒たちも真剣なまなざしを寄せ、主体的に学習に取り組んでいます。確かに、難しい学習内容や計算問題に苦慮している生徒もいますが、TT授業のT2の先生や学力向上補助員の川上先生のサポートを受け、粘り強く頑張ろうとしています。

春という「リセットの季節」の中で育まれた「新しい気持ちで頑張る自分」というものを大切に、一人一人の生徒の居場所がある温かい教室空間の中で、充実した学校生活を過ごしてほしいと願っているところです。



保護者の皆様へ

コロナ禍、グローバル化、高度情報化、少子高齢化等と様々な課題に直面している現代日本。そんな日本のこれからの時代を生き抜いていく子どもたちに必要な力とは何でしょうか？ そのヒントになる文書を見つけました。ご紹介させていただきます。ご一読ください。



私はよく子どもたちに「虫の目、鳥の目、魚の目を身につけよう」と言っています。「虫の目」とは、物事を細かく見る力、正確に細部にわたって理解する力。「鳥の目」は、少し引いた場所から全体像を俯瞰(ふかん)し、全体の構造がどうなっているのかを正確に捉える力。「魚の目」とは、物事がこれからどのように動いていく(変化していく)のか、変化の方向(潮流)をとらえる力です。この「3つの目」を持っていれば、今の世の中がどうなっていて、どちらに向かって進んでいこうとしているのかを的確に捉えることができ、時代の変化についていくことが可能になります。次に、自分という視点、「軸」を持つこと。「3つの目」で自分の生きる社会を把握した上で、その中で自分は何をしたいのか、何をすべきなのか、「自分はどう生きるか」をはっきりさせるということです。私はこの3つの目と自分軸を持つことが適応力を発揮していくうえで欠かせないと考えています。 おおた としまさ(太田敏正) (※育児・教育ジャーナリスト(Z会 ミライ研究室より))

「自由」は大切なものでも「自由」とは何もしないことではありません。「自由」とは、やりたいこと、進みたい道が見つかったとき、それをあきらめることなく、自分の力で実現できること。その「自由」を手に入れるために何が必要か？

それが毎日の「勉強」だと思っただけです。自分の能力に線を引いてはいけません。自分自身を他人と比べてはいけません。自分の力・可能性を信じるのです。「自由」を手に入れるための「勉強」を、一歩ずつ一歩ずつ、確実に「自由」を手に入れるための「勉強」を毎日、大切に続けるのです。あきらめなければ、きっと、その「自由」をつかめるはずです。そんなあなたを応援しています！

千一人部 思いを力に / 4月第5週の言葉



入学後、初めてのテストとなる「課題テスト」に真剣に取り組む一年生。

校長室の前に、偉人たちの言葉やその時々感じた私の思いを、短い文書にして掲示しています。そして【4月5週の言葉】が上に掲載した文書です。確かに、勉強が苦手で、自信を持ってない生徒がいることも事実です。しかし、日々の学習に粘り強く取り組ませることができれば、必ず生徒一人一人の可能性は輝いてくると信じています。そんな生徒達に、「勉強することの意味」を伝えたく掲示させていただきました。

郡中学校のサポート体制を紹介させていただきます。ご利用ください。

中学校の3年間は、人生の中でも最も多感な時期だけに、さまざまな不安や悩みをもつことがあります。そんな時、もちろん担任の先生方に相談するのも一つの方法ですが、郡中学校には、「チーム郡」として専門的な知識や経験をもとにみなさんのことをしっかりサポートしてくれる先生方がいます。悩みがある時、不安な時、どうぞ相談してみてください。

スクールカウンセラー:森田里美先生

勤務は火曜日 9:15~16:15

(第3火曜日の午後は、福重小勤務)

心理相談の専門家です。生徒自身が悩みや不安、ストレスなどを相談できます。また、保護者の方が、お子様のことで、気になることがある場合も相談できますので、ご利用ください。

心の響室相談員:土井洋子先生

勤務は月~金曜日 9:00~14:30

生徒の悩みや不安、ストレスなどを温かく聞いてもらうことができます。先生方には、なかなか相談しにくいような内容でも、大丈夫ですから、安心して相談してください。



私がお手伝いをさせていただきます。

養護教諭
荒木誠子

※面談を希望される場合は、担任か荒木誠子養護教諭にご連絡ください。 TEL 55-8318